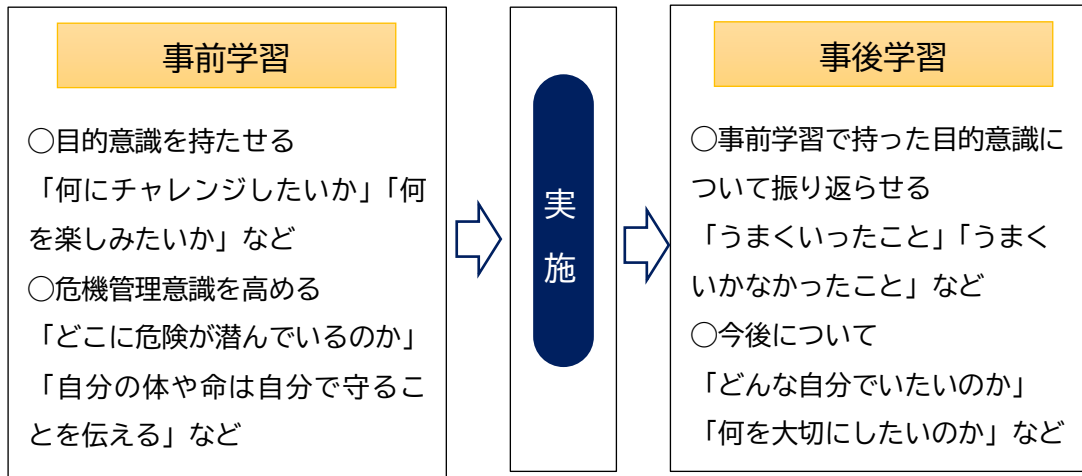


(別紙) 継続的なプログラムの例

ア パターン1 単発で体験活動を実施する場合

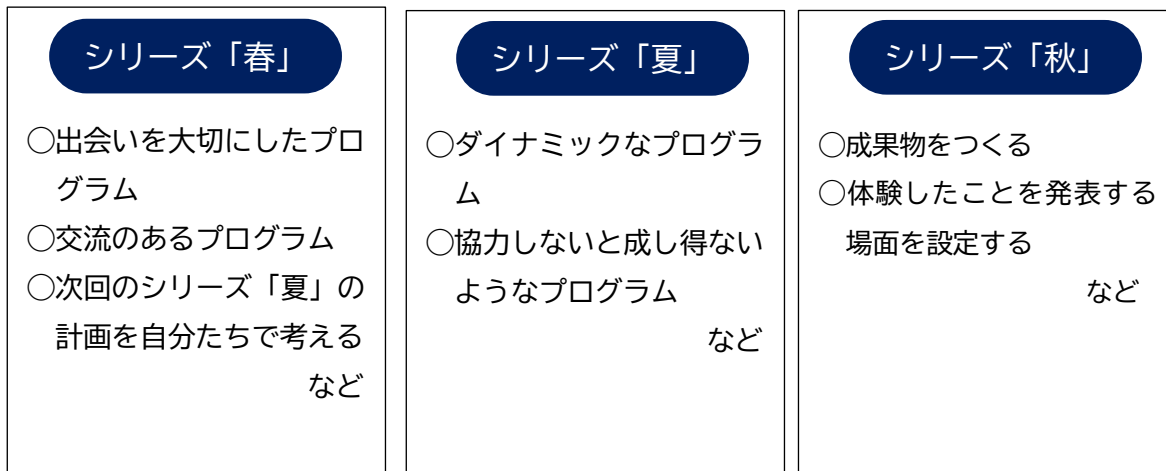
事前学習を通して、子どもに目的意識を持たせ、事後学習で体験や参加者同士の交流を通して感じたことを振り返り、今後の自分について考える時間を設定する。



(2) パターン2 シリーズ型で実施する場合

年間を数回の体験活動を一連の取組として実施することを通して、段階的に効果の上がる体験としていく。テーマを決めて実施するのも良い。

(例) 年3回シリーズとした場合



(3) パターン3 居場所型

プレーパークなど、子どもが自分の意志で自由に遊んだり、交流したりする場を設定する。

(例) 毎週○曜日に実施。年間40回実施。

